

川崎市指令環廃 第27号

許可番号 第05720004159号

# 産業廃棄物処分業許可証

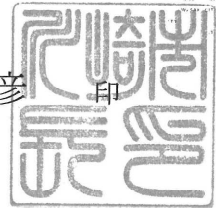


住所 福島県いわき市錦町四反田3.0番地  
氏名 株式会社 クレハ環境  
代表取締役 並川 昌弘 様

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた者であることを証する。

令和4年5月13日

川崎市長 福田 紀彦 印



許可の年月日 平成30年5月1日

許可の有効期限 令和7年4月30日

## 1 事業の範囲

### (1) 事業の区分

中間処理(破碎・焼却、脱水・焼却、破碎・焼却)

### (2) 産業廃棄物の種類

#### ア 破碎に係るもの

(ア) 金属くず、(イ) ガラスくず、(ウ) がれき類

以上3種類(特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

#### イ 焼却に係るもの

(ア) 汚泥、(イ) 廃油、(ウ) 廃酸、(エ) 廃アルカリ、

(オ) 廃プラスチック類、(カ) 紙くず、(キ) 木くず、(ク) 繊維くず、

(ケ) 動植物性残渣、(コ) ゴムくず、(サ) 金属くず、(シ) ガラスくず、

(ス) がれき類、(セ) 動物の死体、(ソ) 動物系固形不要物

以上15種類(特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

#### ウ 脱水・焼却に係るもの

(ア) 汚泥 以上1種類(特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

#### エ 破碎・焼却に係るもの

(ア) 廃プラスチック類、(イ) 紙くず、(ウ) 木くず、(エ) 繊維くず、

(オ) ゴムくず、(カ) 金属くず、(キ) ガラスくず、(ク) がれき類

以上8種類(特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

### (3) 制限

焼却に係る産業廃棄物のうち、焼却施設No.2で処理するものは、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及びがれき類に限る。

2 事業の用に供するすべての施設(施設ごとに種類、設置場所、設置年月日、処理能力、許可年月日及び許可番号(産業廃棄物処理施設の設置の許可を受けている場合に限る。)を記入すること)別記1のとおり

## 3 許可の条件

## 4 許可の更新又は変更の状況

平成30年5月1日 更新許可

平成30年5月1日 優良認定

平成31年4月25日 代表者変更

令和4年4月27日 代表者変更

**【注意】**  
この許可証(写)は許可内容の開示及び契約書添付を目的とし、その他の用途による使用は無効とする。

5 規則第10条の4第7項の規定による許可証の提出の有無 無



別記1

(1) 事業の用に供する施設

施設の種別及び設置年月日	処理能力	所在地
<b>ア 破碎施設</b> (破碎施設) (設置年月日 平成13年3月23日) (許可年月日 平成13年3月23日) (許可番号 第1069号)	136 t/日 (混合破碎) 71.2 t/日 (廃プラスチック類) 276.8 t/日 (木くず) 783.2 t/日 (がれき類)	川崎市川崎区千鳥町 9番6号ほか (24507.27 m <sup>2</sup> )
<b>イ 焼却施設</b> (焼却施設 No.1) (設置年月日 平成13年3月23日) (許可年月日 昭和13年3月23日) (許可番号 第1067号)	140 t/日 (混合焼却) 112 m <sup>3</sup> /日 (汚泥) 150 m <sup>3</sup> /日 (廃油) 80 t/日 (廃プラスチック類) 230 t/日 (その他の産業廃棄物)	
<b>ウ 焼却施設</b> (焼却施設 No.2) (設置年月日 平成13年3月23日) (許可年月日 平成13年3月23日) (許可番号 第1068号)	70 t/日 (混合焼却) 48 m <sup>3</sup> /日 (汚泥) 75 m <sup>3</sup> /日 (廃油) 40 t/日 (廃プラスチック類) 115 t/日 (その他の産業廃棄物)	
<b>エ 脱水施設</b> (脱水施設) (設置年月日 平成13年3月23日) (許可年月日 平成13年3月23日) (許可番号 第1070号)	51.8 m <sup>3</sup> /日 (汚泥)	

(2) 施設の種別及び能力

施設の種別	処理能力	備考
破碎施設一式	136 t/日	破碎施設
焼却施設一式	210 t/日	焼却施設 No.1、No.2
脱水・焼却施設一式	51.8 m <sup>3</sup> /日	脱水施設、焼却施設 No.1、No.2
破碎・焼却施設一式	136 t/日	破碎施設、焼却施設 No.1、No.2

この処分不服があるときは、この処分があったことを知った日の翌日から起算して3月以内に、神奈川県知事に対して審査請求をすることができます。この処分の取消しを求める訴えは、この処分があったことを知った日（前記の審査請求をした場合には、当該審査請求についての裁決があったことを知った日）の翌日から起算して6月以内に、川崎市を被告として（川崎市長が被告の代表者となります。）、提起することができます。